

データドリブン経営を支えるデータマネジメントとは？

日本電気株式会社
コンサルティングサービス事業部門
アナリティクスコンサルティング統括部
データマネジメントグループ
ディレクター 下條 裕之

登壇者プロフィール



下條 裕之 Hiroyuki Shimojo

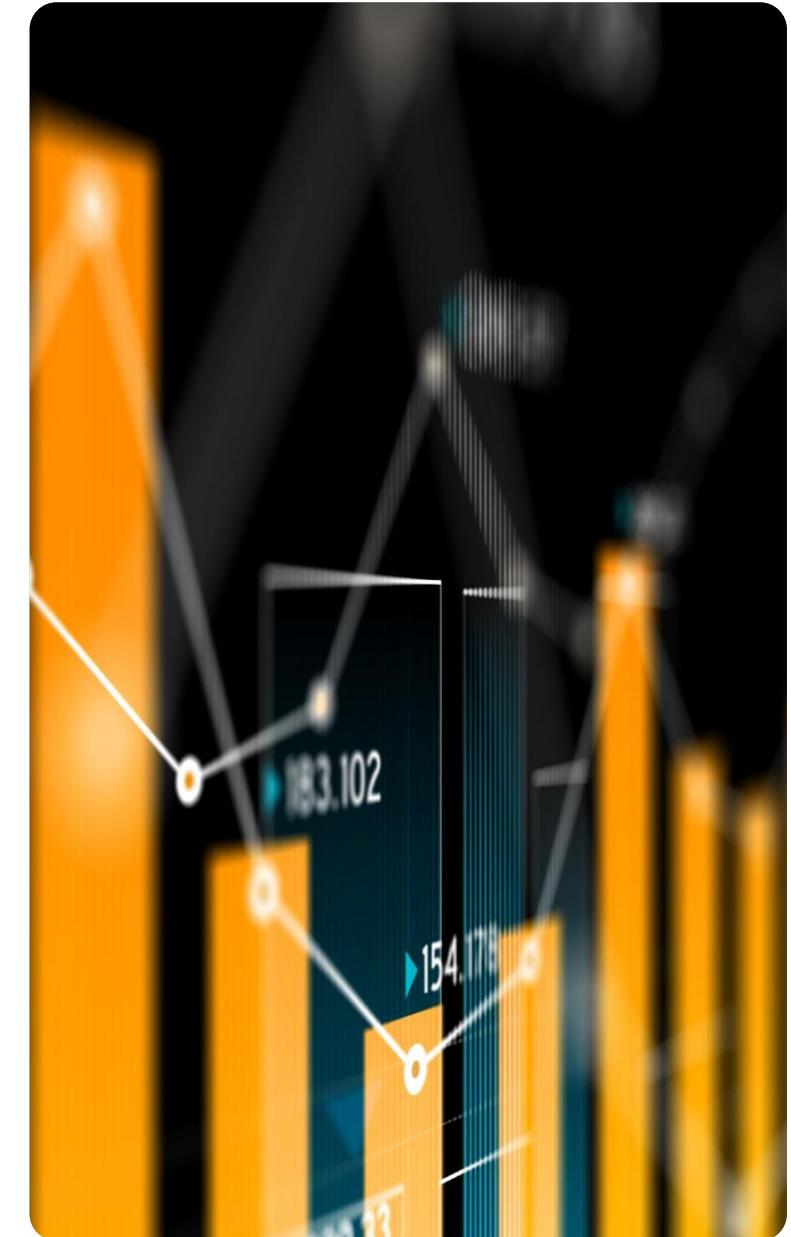
NEC

コンサルティングサービス事業部門
アナリティクスコンサルティング統括部
データマネジメントグループ
ディレクター

- エネルギー会社や電力会社、製造業のお客様に対してNECが自社で実践してきた実践知をもとに、データマネジメントに関する戦略策定からデータ専門組織設計、データ分析PoC推進まで幅広くコンサルティング支援を実施中。

アジェンダ

- ① データマネジメント基本の「キ」
- ② データマネジメントで重要な5つの柱
- ③ 内製化？外注？問題について
- ④ AI-Readyなデータマネジメントとは



- ① データマネジメント基本の「キ」
- ② データマネジメントで重要な5つの柱
- ③ 内製化？外注？問題について
- ④ AI-Readyなデータマネジメントとは

そもそもデータマネジメントって何？

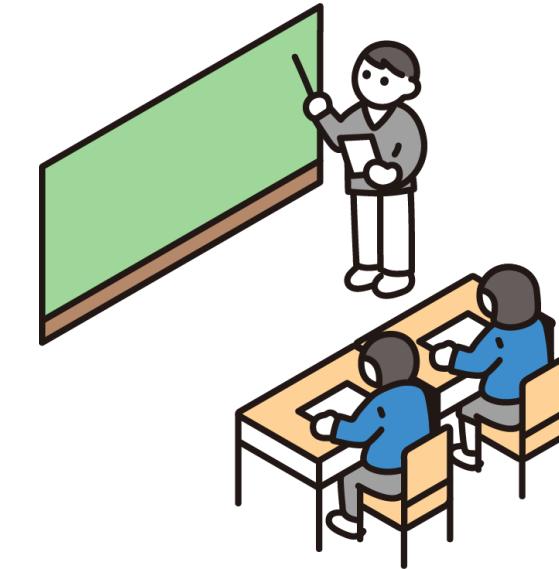
データドリブン経営を実現するための取り組み全て



データガバナンス



データ分析・可視化



人材育成

データマネジメントのよくある勘違い

よくある勘違い

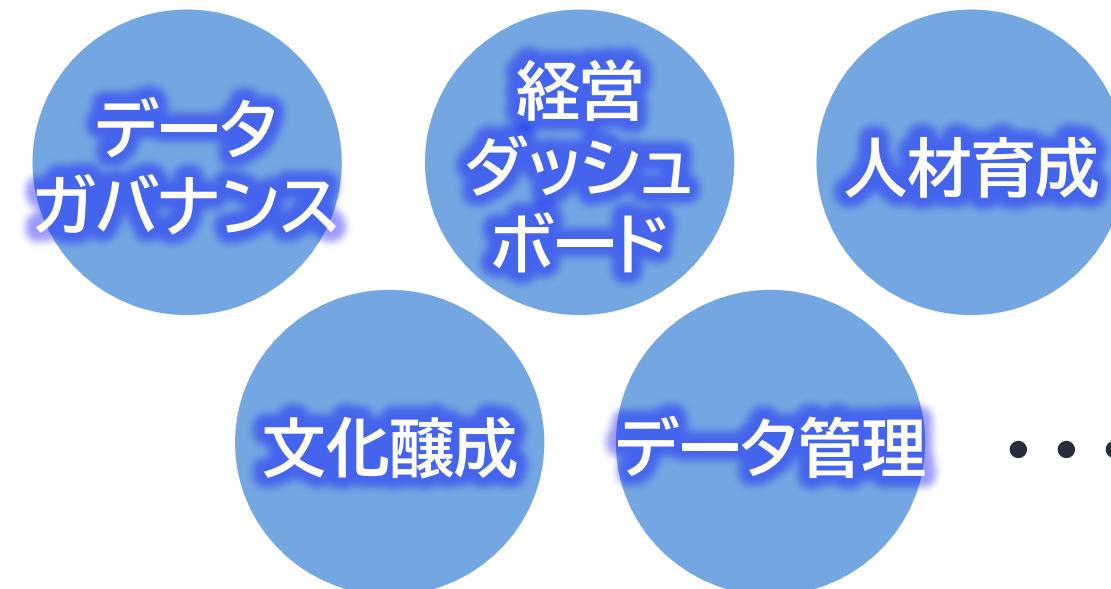
データマネジメント
＝データ管理のみ？



データ管理のみでは
経営改革に繋がりにくい

NECの考えるデータマネジメント

「経営改革」につながる
全ての取り組み



データマネジメントの辞書「DMBOK」

DMBOK

II

Data Management
Body of Knowledge

データマネジメントの辞書「DMBOK」

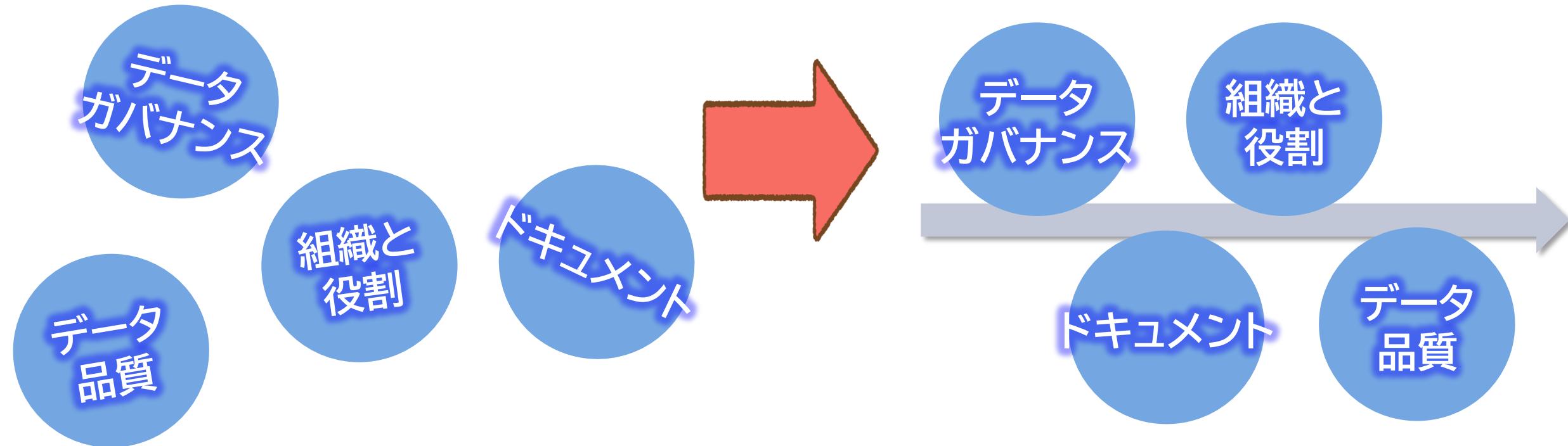


しかし…DMBOKを読んだだけで
データマネジメントは難しい

データマネジメントの辞書「DMBOK」

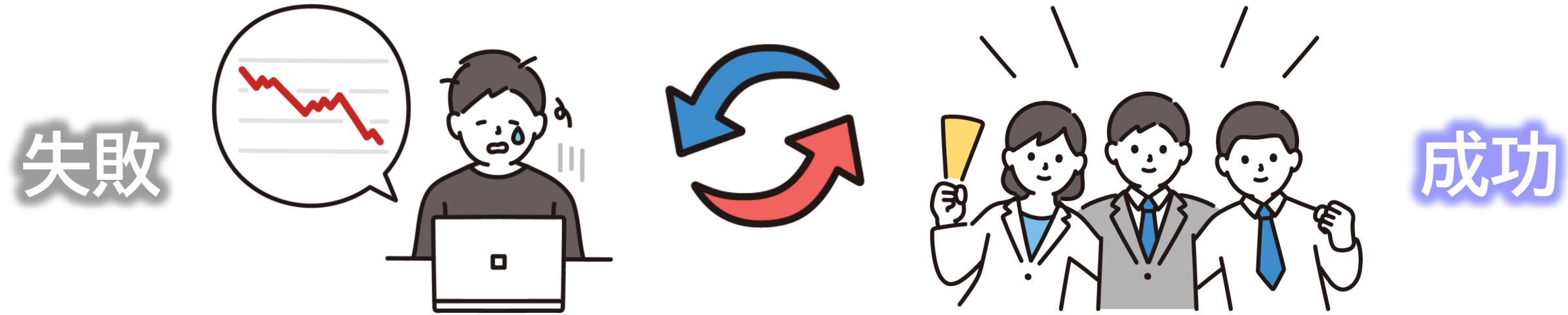
DMBOKは網羅的ではあるが
点が点在している状態

点と点を繋いで
線になって初めて実践できる



NECでは自社を0番目のお客様として社内実践

自社で失敗と成功を繰り返して実践知を蓄積



辞書の知識を実践ノウハウへ昇華

- ① データマネジメント基本の「キ」
- ② データマネジメントで重要な5つの柱
- ③ 内製化？外注？問題について
- ④ AI-Readyなデータマネジメントとは

データマネジメントで重要な5つの柱モデル

NECでは自社での取り組みの実践知から、5つの柱と土台である戦略策定が重要と考えています



組織/統制



文化



人材育成



分析/AI



基盤



戦略策定

つまずきやすい2つの柱について解説！

5つの柱の中で最初につまずきやすい



組織/統制



文化

について解説します

データ専門組織DMOと最初の進め方

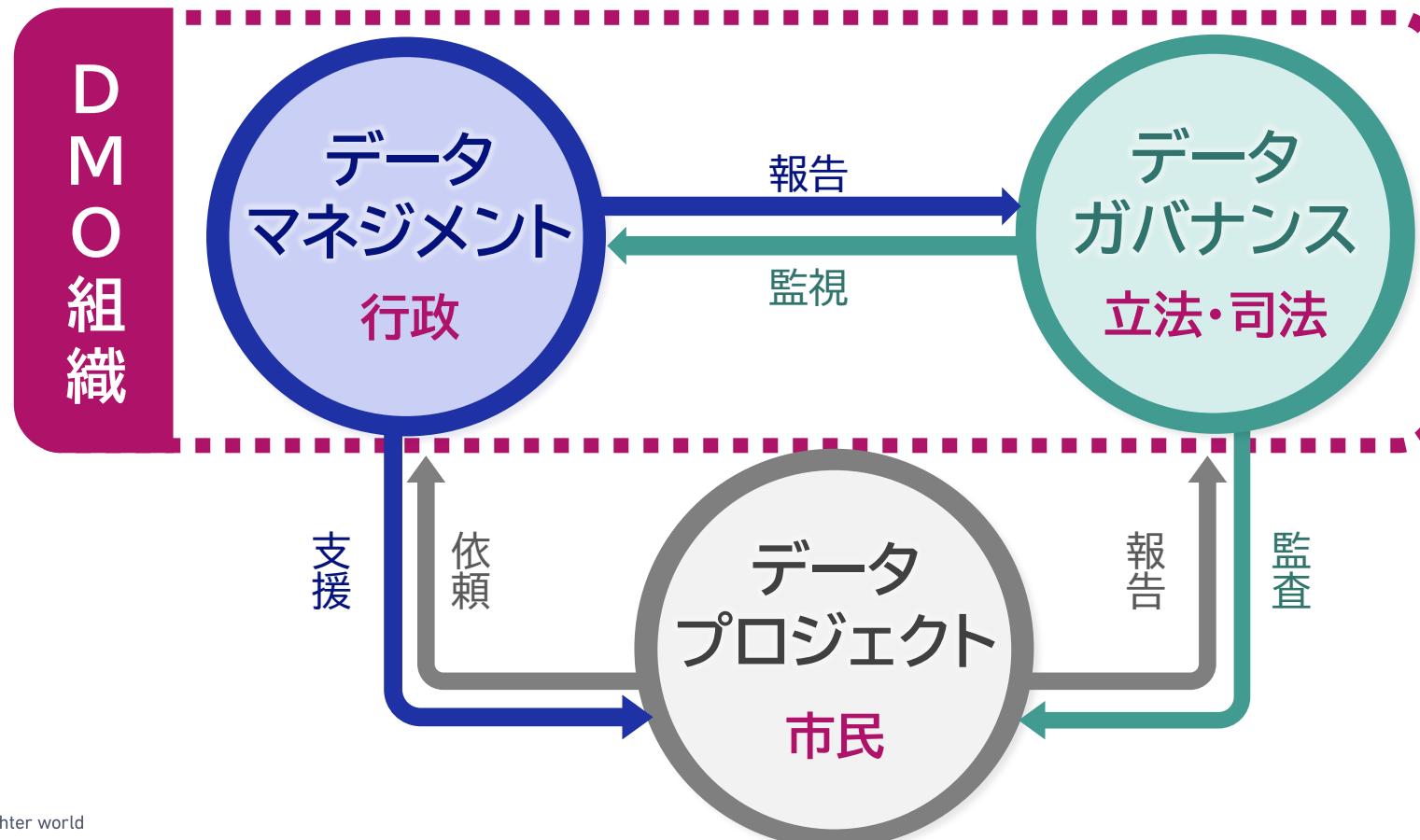
組織/統制

DMO
||
Data Management Office

データ専門組織DMOと最初の進め方

組織/統制

サポート機能である「行政(データマネジメント)」と
統制機能である「立法・司法(データガバナンス)」を持った組織



データ専門組織DMOと最初の進め方

組織/統制

- ①組織を作るよりも機能を持つ
- ②ルール策定と浸透を専任で推進

文化醸成の4つの壁と意識の壁の越え方

文化

NEC自社での実践からデータマネジメント文化の浸透を阻害する
4つの壁があると発見しました



文化醸成の4つの壁と意識の壁の越え方

文化

ダッシュボードでの可視化や
身近なデータを分析・活用するなど

小さく始めて実績を作り
仲間を増やしていく

- ① データマネジメント基本の「キ」
- ② データマネジメントで重要な5つの柱
- ③ 内製化？外注？問題について
- ④ AI-Readyなデータマネジメントとは

内製化がいいのか？外注していいのか？

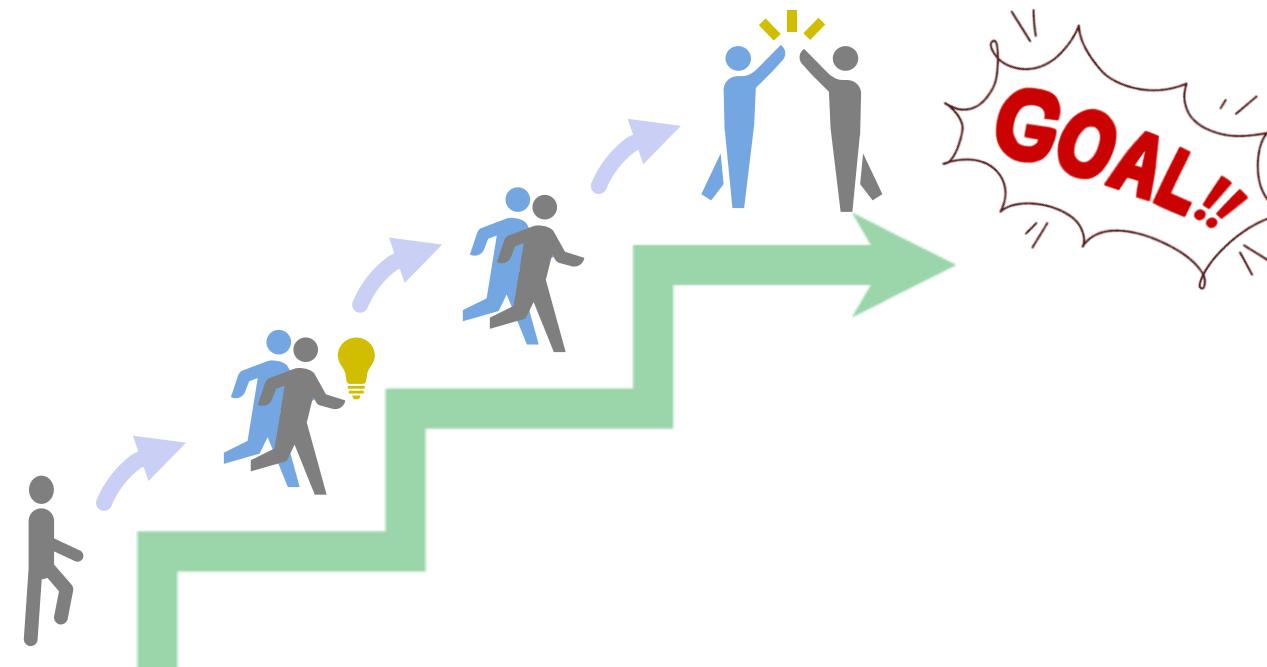
結論

内製化が望ましい！

しかし…

内製化がいいのか？外注していいのか？

最初は経験のある外部に一部頼ってもOK
しかし最終的には完全内製化を目指す



内製化がいいのか？外注していいのか？

外注先の都合のゴールにならず
丸投げでもなく

皆さんが想いをもって外注パートナーと
伴走することができれば
成功に導けます

- ① データマネジメント基本の「キ」
- ② データマネジメントで重要な5つの柱
- ③ 内製化？外注？問題について
- ④ AI-Readyなデータマネジメントとは

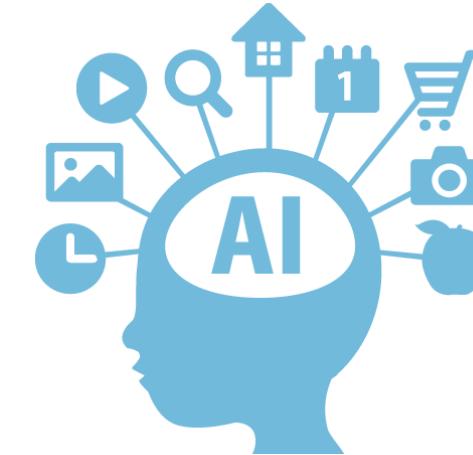
最近のデータマネジメント界隈

最近よく聞くお悩み



Data Management

VS

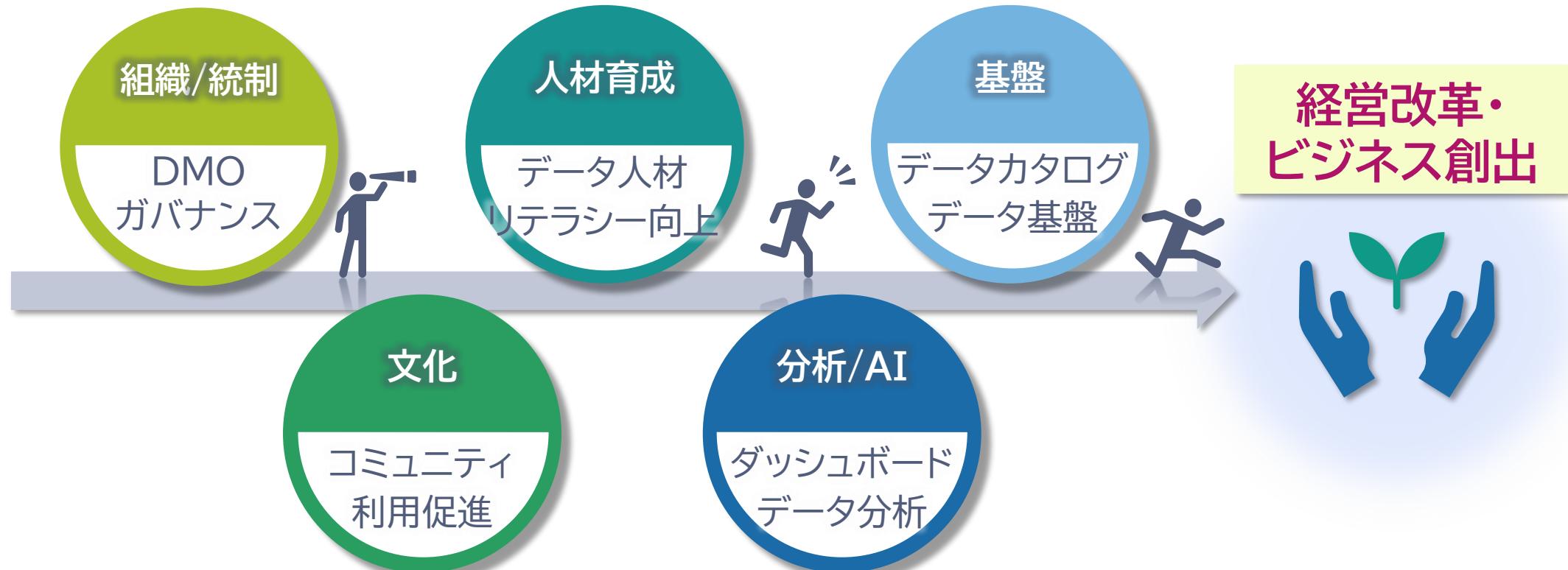


AI-Ready

「データマネジメントの重要性は分かっているけど
AI-Readyを目指していきたい。
どうしたらいいの？」

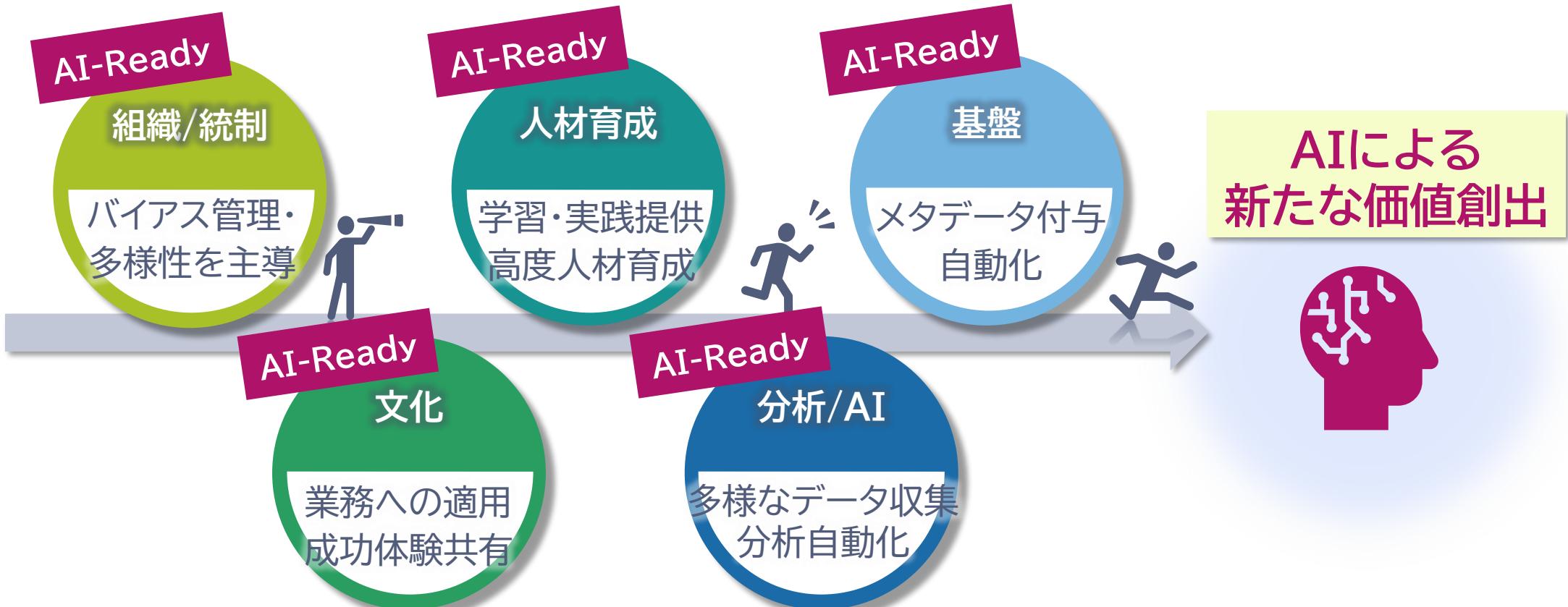
従来のデータマネジメント

「戦略」+「組織・統制」・「文化醸成」・「分析/活用」・「人材」・「基盤」を満遍なく、推進していくことが重要



AI-Readyなデータマネジメント

従来のデータマネジメントの基本的な原則を維持しつつも、AIの特性(学習、自動化、バイアスなど)に対応する追加検討が必要



AI-Readyなデータマネジメント

AI-Readyなデータマネジメント



AIプロジェクト全体のデータ管理(AI倫理・バイアス管理・多様性)を主導



AIの可能性・倫理的側面への理解やAIの成功体験を組織全体で共有



非構造化データ含む多様なデータを統合、収集～分析を自動化・リアルタイム化



AI技術進化に対応した学習機会を提供、ビジネス部門へのAIの定着を推進



AIが理解しやすいメタデータとリネージを強化したデータカタログを自動更新

従来のデータマネジメント

DMO
データガバナンス

コミュニティ活動
興味の促進

データ人材の育成
リテラシー向上

ダッシュボード
データ分析

分析基盤の構築
データカタログ

組織/統制

文化

人材育成

分析/AI

基盤

さいごに…

さいごに・・・

データマネジメントの進め方に正解はない
AI活用・データ可視化など自社の目的に沿って

“Quick Win”

..Quick Win..

を目指すことが重要